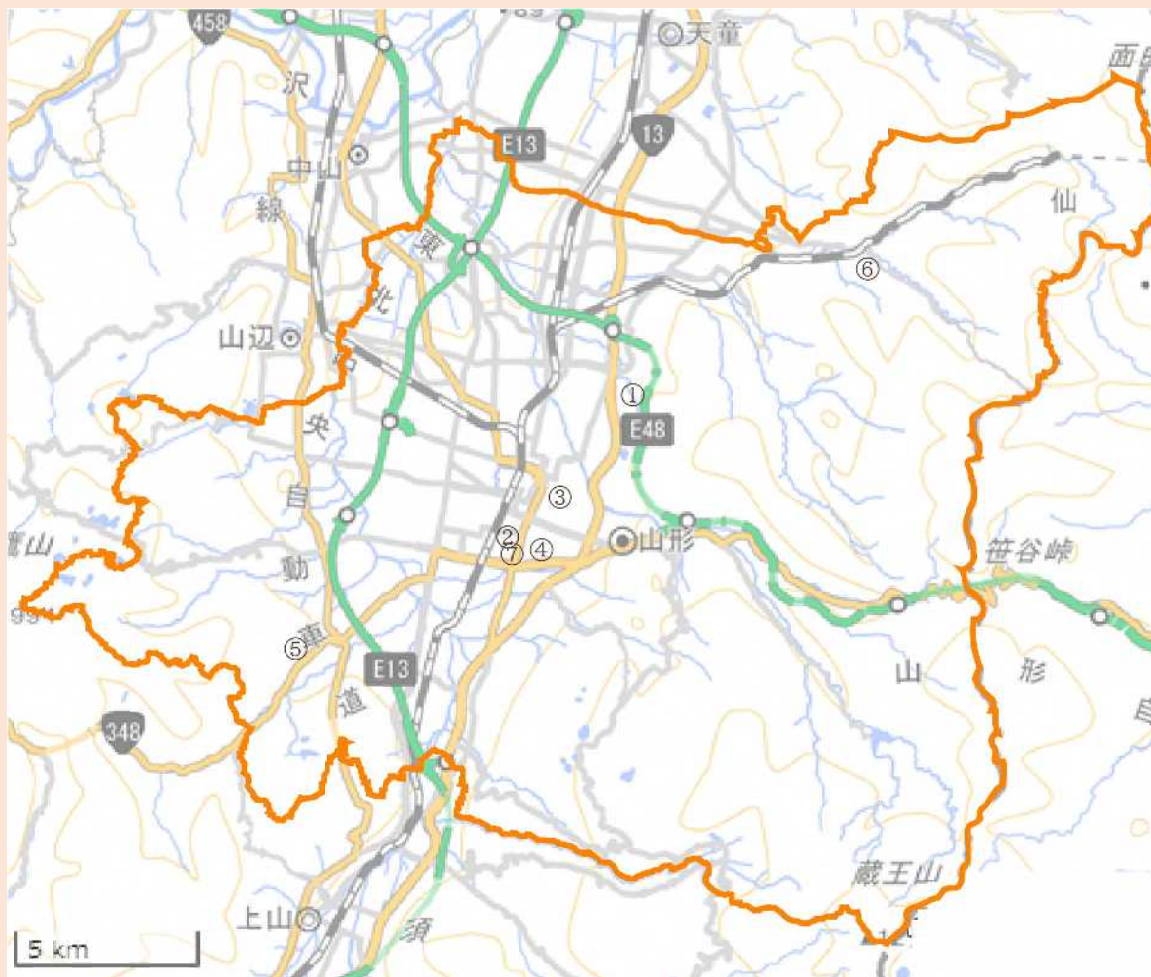


市指定有形文化財

【絵画】



市指定有形文化財 【絵画】

- ①高原植木踊図絵馬
- ②猿駒曳図絵馬
- ③絹本著色斯波兼頼画像
- ④紙本金地著色葡萄棚図屏風
- ⑤紙本金地著色薄図屏風
- ⑥黄石公図
- ⑦勝因寺山門二階格天井(書画)



01

たかはらうえきおどりずえま

高原植木踊図絵馬

所在地：山形市高原町902

所有者：龍泰寺

指定年月日：平成2年3月30日

高原町に伝わる植木踊を描いた絵馬。絵は狩野派に大和絵を加味した彩色で、中央部に紅花染の茜布を垂れ、「五穀成就・豊歳萬作」の願文を掲げた大傘を中心に、踊り手である六人の男が踊りまわり、囃子の女が一人「寿」と記した扇子を持っている。



02

さるこまひきずえま

猿駒曳図絵馬

所在地：山形市大手町1-53

所有者：日枝神社（寄託：最上義光歴史館）

指定年月日：平成2年3月30日

元和6(1620)年10月16日、^{もがみ}最上源五郎家^{いえのぶ}信奉納の三面の小絵馬。絵は杉の^{まさいた}杙板に金泥を塗り、日枝神社の使いである猿が駒を曳く図である。家信は^{よしあき}最上義光の孫で、父家親の急死により12歳で^{いづちか}最上家を継いだ^{いづちか}が、この絵は家信15歳の時に納めたもの。



03

けんぼんちゃくしよく しばかねよりがぞう

絹本著色斯波兼頼画像

所在地：山形市大手町1-53

所有者：光明寺（寄託：最上義光歴史館）

指定年月日：平成15年3月28日

衣を描く筆線、特に両袖の肘周辺のS字形を描く線描に特徴があり、起筆が太くアクセントが付けられている。全国的にも希少な室町武家像のひとつといえ、貴重なものである。



04

しほんきんじちやくしよく ぶどうだなずびょうぶ

紙本金地著色葡萄棚図屏風

所在地：山形市大手町1-53

所有者：光禅寺（寄託：最上義光歴史館）

指定年月日：平成15年3月28日

^{もがみ よしあき}最上義光の菩提寺である光禅寺に伝わる屏風。元は六曲一双であったが、明治27(1894)年の山形大火の際に、右隻と思われる方は焼失し、左隻の本作のみ救い出されたという。義光が生前に光禅寺に奉納した可能性がある。



05

しほんきんじちやくしよく すすきずびょうぶ

紙本金地著色薄図屏風

所在地：山形市大手町1-53

所有者：清源寺（寄託：最上義光歴史館）

指定年月日：平成15年3月28日

六曲一双屏風の総金地に、薄の叢のみを描いたいわゆる一色(式)画である。日本画の特質のひとつである装飾美と抑制のきいた品格を兼ね備えた屏風といえる。江戸初期の宗達派の流^{そうたつ}れをたどる上で貴重な資料。



06

こうせきこうず

黄石公図

所在地：山形市大字山寺字南院4223

所有者：山形市（寄託：山寺芭蕉記念館）

指定年月日：平成29年2月22日

絹本淡彩。与謝蕪村が中国秦時代の隠士・黄石公^{よしばそん}を描いたもの。蕪村が詩画両道に秀でていたことを証する資料。蕪村絵画の完成期ならではの格調の高い人物画であり、南画のみならず漢画や写生画の技法も自家薬籠中のものとしていたことを示している。



07

しょういんじさんもんにかいごうてんじょう

しょうが

勝因寺山門二階格天井（書画）

所在地：山形市鉄砲町一丁目4-8

所有者：勝因寺

指定年月日：令和6年4月8日

明和7(1770)年に完成した勝因寺山門の二階の格天井にある80面の絵画。格天井全体は縦(南北)10面、横(東西)16面、計160面からなり、絵画と絵画の間に板に墨で篆書体の漢字一字を書いた80面が配置されている。